

都市環境

◆適正な土地利用の推進

令和5年度から14年度までの10年間における短期・中期的な都市づくりの方向性を示し、本市の将来像とその実現に向けた道筋を明らかにする「都市計画マスタープラン」の策定に取り組みます。

秩序ある市街地整備の推進については、茂原駅前通り地区土地区画整理事業の進捗率^{しんちよく}が、本年度末に事業費ベースで約44.8%となる見込みのため、引き続き、早期完成に向けて事業の推進に努めます。

また、組合施行の茂原市ゆたか土地区画整理事業については、換地処分が完了し、事務が順調に進んでいます。引き続き、関係機関と連携し、令和4年度末の解散に向けた業務を支援します。

◆道路網の整備

都市計画道路桑原八千代線の一部供用開始を目指し、JR茂原駅周辺の利便性の向上を図ります。

◆地域公共交通網の整備

人口減少や高齢化の進展など社会環境が大きく変化している中、本市にとって望ましい公共交通の姿を明らかにする「地域公共交通計画」の策定に取り組みます。

◆公共下水道の整備

ストックマネジメント計画に基づいた処理場、ポンプ場および^{かんぎよ}管渠施設の一体的な改築更新等を継続的に実施し、適切な維持管理に努めます。

◆農業集落排水事業

平成28年度に作成した経営戦略の見直しを行いながら、処理施設、管路施設の機能強化対策に取り組むとともに、水洗化の普及促進に努め、公共用水域の水質保全および農村環境の改善を図ります。

◆公園の整備

利用者の安全に配慮した遊具の点検をはじめとする適正な維持管理に努めます。

また、茂原公園において、弁天湖の護岸改修工事の実施に加え、桜の外科治療による樹勢回復を行うなど、多くの方に利用してもらえるよう整備を進めます。

◆持続可能な資源循環型社会の形成

リデュース・リユース・リサイクルの「3R」を推進し、生活環境の保全と公衆衛生の向上に努めます。

協働推進

◆市民活動の促進

これまでに32の市民活動団体を認定し、行政との協働による提案事業や、市民活動団体によるまちづくり事業に対して補助を行うなど支援してきました。

今後も、感染症予防と市民活動の両立を支援し、活発な地域活動の推進に努めます。



▲「災害時における三者連携・協働に向けて」講演会の様子（令和3年度）

◆広報活動の充実

情報伝達手段が多様化していることから、新たなSNSの活用など、より効果的な情報発信に努め、市民の利便性および満足度の向上を図ります。

◆市民の市政参加の機会充実

「市長への手紙」、「市長と話し合う会」など、広く意見を聴く機会を設け、市民の声が市政に届くよう努めます。

◆行政改革と情報化の推進

デジタル技術の活用により、市民の利便性向上と業務の効率化、生産性の向上を図るDXを推進するため、「DX推進基本方針」を策定しました。

今後も、時代の変化に適切に対応し、課題の解決に資するよう、情報化を推進します。